

学校の沿革と教育目標

橋本 勝信

大阪保健福祉専門学校 学校長
学校法人大阪滋慶学園 常務理事

【沿革】

大阪保健福祉専門学校は1997年（平成9年）4月1日に設置され、今年で創立26年になります。

設立母体の学校法人大阪滋慶学園は、1987年（昭和62年）に設立され、今年で創立36年になり、大阪医療技術学園専門学校、大阪ハイテクノロジー専門学校、大阪医療福祉専門学校、大阪医療看護専門学校、出雲医療看護専門学校、鳥取市医療看護専門学校、美作市スポーツ医療看護専門学校、滋慶学園高等学校、新大阪歯科技工士専門学校、新大阪歯科衛生士専門学校、東洋医療専門学校、滋慶医療科学大学、滋慶医療科学大学大学院（大学院大学の名称変更）等の学校が設置されています。

【教育目的】

学校法人大阪滋慶学園各校の「建学の理念（Vision）」として、「実学教育」「人間教育」「国際教育」の学びの実践を通じて、一段高い技術を習得する努力を重ねています。この学びを通して、医療・福祉業界と連携をとり、創造性（実践力）の有る人材、人間性の豊かな人材、国際感性等を身につけている人材養成を目指しております。

また、本校は、2014年（平成26年）3月31日付、文部科学大臣より、産学連携により実践的な職業教育の取組で「職業実践専門課程認定校」として認定されました（学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会、自己点検・自己評価委員会等で職業教育の質の担保を推進しています）。

【教育目標】

本校の設置学科は、看護学科（昼3年制）、介護福祉科（昼2年制）、社会福祉科（昼4年制）、保健保育科（昼夜2年制）、精神保健福祉科（夜1年制）、社会福祉専攻科（夜1年制）、専攻科（昼1年制）から成り立っています。本校の全学科は、保健、医療、福祉それぞれについての専門的知識、技術の修得はもちろんのこと学科にこだわらず、この分野を総合的な幅広い視野でとらえ得る人間性豊かな人材を養成することを目標としています。国家試験の受験資格と合格を得ることと、将来の医療福祉の現場においては、専門的知識や技術の卓越さだけでなく、自らが置かれている現場において即応性や創造性、人間性がますます問われる。また、本校の特色として、昼間・夜間共に広く社会人をも受け入れる体制を整えております。そして、本校の「教育目的」の具体的内容(ex. 学校の3つのポリシー、キャリア教育、教育システムとスケジュール、2022年度の教科目標、2022年度の教育課程、学年暦、学則、学生規定、試験規定等)と教育活動、学生生活の手引き等が学生便覧に記載されています。熟読して、いつでも携帯して利用してください。学生諸君が「学びのハンドブック」として、多くの「アカデミック・スキル」を身につけて成長されることを期待します。

【生涯教育他】

医療・保健・福祉の分野は、年々変革進歩しており、互いの分野の協調と共に卒業後の生涯教育の重要性が求められています。その支援組織として、2011年4月、我が国初の医療の質の向上と患者の安全を学術的に探求する「滋慶医療科学大学院大学（修士課程2年制）」が設置され、2021年4月より「滋慶医療科学大学大学院（修士課程2年制）」となり、働きながら学ぶ道も開かれています。2007年には、社会人のキャリア開発を支援するための生涯教育機関として、「滋慶医療経営管理研究センター」が設置されています。

本校の在学学生、卒業生の成長を喜びとする教職員が未来に向かって皆さんと共に創造性のある学校創りに協働します。